

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	造園ガーデニング実習Ⅰ						授業形態		実習	
科目コード	710098	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	林 典生、平岡 直樹、岡島 直方、牧田 直子、平木 克二、中村 千恵								ICT活 用	○
授業概要	造園系分野で必要な基礎的な知識・技術を習得すると共に、その考え方・視点を習得してもらう。授業は2コマを1単元とし180分の実習となる。 【知識・理解の活用、課題解決】【汎用的技能、諸要因探求】【人間力、他者と協調】 造園の仕事で自営業を行っている複数の実務家が講師として、具体的な施工や管理の方法などを指導していただく。									
関連する科目	履修後は造園ガーデニング実習Ⅱ、造園施工実習、ガーデニング特別実習の履修をしていただく様お願いいたします。									
授業の進め方 と方法	受講者をグループに分け、テーマごとに実施する。昨年度は3グループに分かれて実施した（第2回目は3グループに分かれて異なる実習内容をローテーションで受講、第3・4・7～10回目はグループ毎で受講、実習内容によりグループ内でさらに分かれてローテーションで受講、第6・11・12回は学外現場で視察・管理実習、第5・13～15回目は3グループ以上に分かれて学内の庭園や花壇の整備・管理を実施）。 今年度は実習授業中にて資料掲示・配布とともに別途説明を行う。 目標としている課題を達成するための視点や身体の動かし方を体験し、体験したことをレポートにまとめて言語化して伝えることができるようにする。 実習内容は天候等の都合で変更する場合がある。 課題の提出及びフィードバックはユニバーサルパスポートのクラスプロフィール上で行う。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 担当教職員の紹介、実習全体の流れの説明後、実習実施場所の花壇・植栽管理を行う。									
授業計画 【第2回】	男結び・道具の使い方・植栽管理の基礎 竹垣等に必要な男結び等のロープワーク、樹木剪定を通じて剪定はさみ・のこぎりならびに木工道具の使い方の確認ならびに、前回に引き続き花壇・植栽管理の基礎確認を行う。									
授業計画 【第3回】	日本の伝統的な作庭技術を学ぶ 石 造園技能士3級実技試験の敷石までの流れを実際に行いながら説明を受けた後、使用する材料・道具の使い方の練習を行う。									
授業計画 【第4回】	日本の伝統的な作庭技術を学ぶ 竹垣 1 造園技能士3級実技試験の四目垣製作まで流れについて実際に行いながら説明を受けた後、使用する材料・道具の使い方の練習を行う。									
授業計画 【第5回】	日本の伝統的な作庭技術を学ぶ 竹垣 2 四目垣製作 2 造園技能士3級実技試験の最終完成まで流れについて実際に行いながら説明を受けた後、完成を目指す。									
授業計画 【第6回】	外部庭園管理 外部の現場にて、現場での管理方法説明・視察ならびに宿根草・バラ等の剪定・管理を行う。									
授業計画 【第7回】	庭園・緑化空間の施工技術の基礎として園路の施工方法を学ぶ 園路Ⅰ 位置や高さを正確に決めるための仮設物を設置する丁張に関する説明を行った後に、実際に作成する。									
授業計画 【第8回】	庭園・緑化空間の施工技術の基礎として園路の施工方法を学ぶ 園路Ⅱ 構造物の基礎として地盤を所定の深さまで掘削を行う床掘ならびに地面や他の基盤上に設置する施設に関する説明を行った後に、実際に作成する。									
授業計画 【第9回】	庭園・緑化空間の施工技術の基礎として園路の施工方法を学ぶ 園路Ⅲ 前回に引き続き他の基盤上に設置する施設を行い、課題を完成させる。									

授業計画 【第10回】	園・緑化空間の管理技術の基礎として、樹木管理の基礎を学ぶ 樹木管理Ⅰ 不要な枝を取り除き、樹形を整えるなどを目的とした剪定の基礎を説明を行った後に、練習を行う。
授業計画 【第11回】	園・緑化空間の管理技術の基礎として、樹木管理の基礎を学ぶ 樹木管理Ⅱ 前回に引き続き、樹木の骨格、枝の配置を整えるなどを目的とした剪定の基礎を説明を行った後に、練習を行う。
授業計画 【第12回】	園・緑化空間の管理技術の基礎として、樹木管理の基礎を学ぶ 樹木管理Ⅲ 樹木の植え方の基本に関する説明を行った後に、樹木の定植を実施する。
授業計画 【第13回】	グループ別実習Ⅰ（希望する内容のグループに分かれて同じテーマで3回実施する。） 造園技能士特別実習 造園技能士3級未取得者を対象に造園技能士の実技試験に必要な技術を習得する。 モデルガーデン竹垣製作体験 造園技能士2・3級取得者を対象にモデルガーデン内の竹垣製作を行う。 園路工特別実習 フィールド教育センター内の通路でレンガ等を用いた園路工を行う。 石積工特別実習 フィールド教育センター内の現場で石積工を行う。
授業計画 【第14回】	グループ別実習Ⅱ（希望する内容のグループに分かれて同じテーマで3回実施する。） 造園技能士特別実習 造園技能士3級未取得者を対象に造園技能士の実技試験に必要な技術を習得する。 モデルガーデン竹垣製作体験 造園技能士2・3級取得者を対象にモデルガーデン内の竹垣製作を行う。 園路工特別実習 フィールド教育センター内の通路でレンガ等を用いた園路工を行う。 石積工特別実習 フィールド教育センター内の現場で石積工を行う。
授業計画 【第15回】	グループ別実習Ⅲ（希望する内容のグループに分かれて同じテーマで3回実施する。） 造園技能士特別実習 造園技能士3級未取得者を対象に造園技能士の実技試験に必要な技術を習得する。 モデルガーデン竹垣製作体験 造園技能士2・3級取得者を対象にモデルガーデン内の竹垣製作を行う。 園路工特別実習 フィールド教育センター内の通路でレンガ等を用いた園路工を行う。 石積工特別実習 フィールド教育センター内の現場で石積工を行う。
授業の到達目標	造園系分野に必要な、知識・技術および考え方・視点を習得することで、様々な現場や分野で活用できる人材を育てることを目指す。 【専門分野のスキル】【コミュニケーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	オリエンテーション時に実習ノートの一部をユニバーサルパスポートにて配布する。 予定している実習内容・道具・材料について事前に調べる。（所要時間30分程度） 詳細はガイダンス時に説明する。
授業時間外学習【復習】	実習ノート（ファイル）を配布する。 実習内容を思い出ししながら丁寧にレポートをまとめてください。（所要時間1時間：レポート作成の所要時間等の記入が無いようにしてください。） 詳細はガイダンス時に説明する。
課題に対する フィードバック	実習授業なので、その日の実習内容が主な課題となる。説明をよく聞いて、適切に実施できているかどうかは観察され、問題点があれば指摘される。
評価方法・基準	毎授業開始・終了時のレポートチェック、最後にチェックしたレポートをまとめて提出し、そのレポートの内容(記載漏れによる減点含む)で評価の上、複数回実施する持ち物チェック・授業態度による減点、ポートフォリオ提出・発表などによる加点による評価を行う(100点)。 レポート未提出の学生は成績評価対象外になります。各回レポートの提出をため込むと、期末に提出レポートの枚数が増やされるか、減点の対象になります。
テキスト	造園ガーデニング実習ノートおよび授業中に配布する資料など
参考書	多数あるので、授業中に紹介する。
備考	実習系の科目を体系的に取得してもらいたいので、初回に実習系科目相互のつながりについて説明を行う。 造園業に携わっている教員が授業を担当する。 持参物・服装等は第1回目のオリエンテーションにて説明を行うので、必ず出席すること。 持参物は前回はさみ・剪定のこぎり・コンベックス・帽子・タオル・手袋ならびに飲み物を持参してください。